



2025年度

# 臨床研修医募集



 社会福祉法人 恩賜財団 済生会 済生会新潟病院

臨床研修病院

地域医療支援病院

災害拠点病院

地域周産期母子医療センター

赤ちゃんにやさしい病院

がん診療連携拠点病院に準じる病院

〒950-1104 新潟県新潟市西区寺地 280-7 済生会新潟病院 教育研修センター ☎ 025-233-6161 (内線 2253)

URL : <http://www.ngt.saiseikai.or.jp/> E-mail : [rinken@ngt.saiseikai.or.jp](mailto:rinken@ngt.saiseikai.or.jp)





## 思いやりの心を大切に。

信頼される医師となるためには、医学的知識と技術を身につけることが必須ですが、最も重要なことは「病める人への思いやりの心」です。当院では研修医の皆さんが2年間の臨床研修において、医師としての心、知識、技術の基本を習得し、適切なプライマリケアが出来るようになることを目標としています。また質の高い医療の提供を病院の理念の一つとしており、充実したスタッフによる指導と研修環境の整備に努めています。新しい時代の医療を目指す熱意ある研修医の方々をお待ちしています。

### 臨床研修の理念

当院の理念、基本方針に基づき、  
医師としての人格を涵養し、  
一般的診療を目指す臨床医、  
特定分野の専門医いずれの場合にも  
必要なプライマリケアに対処しうる  
基本的知識・技能等を習得すると同時に、  
患者やその家族との信頼関係の下に  
全人的な医療を行う  
能力を身につけた医師を養成します。

### 臨床研修の基本方針

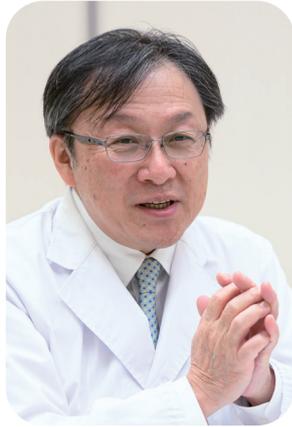
1. 医療安全管理に留意し、患者に満足・納得される医療を行えるようにします。
2. 将来専門とする分野にかかわらず、日常診療で頻繁に遭遇する負傷や疾病に、適切に対応できる基本的な診察能力(態度・技能・知識)を習得できるようにします。
3. チーム医療の重要性を認識し、医師を含めた他の医療メンバー、連携医療機関と協調して診療を実践できるようにします。
4. 医療人としての自覚を持ち、継続的にあらゆる医療サービスの質の維持、向上に努める態度を身につけます。

あなたの未来にむけて  
当院で  
支え合い、高め合う。



### 2023年、 新救急拠点整備・運営主体に選定

2023年5月、新潟市内における医療再編による新たな救急拠点の整備・運営主体の選定結果が発表され、当院が選定されました。院内の変革を進めるとともに、地域の救急医療体制の変革を導けるよう、職員一丸となり全力で取り組んでいます。研修医になる皆さん、困っている人を助けたいという使命を果たし、地域に貢献できる喜びを一緒に実感しましょう。



院長 本間 照

HONMA Terasu

多くの先輩方が口を揃えて言います、「医師になって5年間で勝負。この間に会得したことが、自分の大きな核になる。あとは惰性だな。」その通り、と思います。でも、真っ只中にいる時に、そんなことは分からない、意識することもできません。唯々、無我夢中のうちに毎日が矢のように過ぎていきます。皆さんの吸収力は恐ろしいほど素晴らしい。まさに、三日会わざれば刮目してみよ、です。

この5年間に会得するものとは、知識や技術だけではありません。医師としての「在りよう」です。周りにいる沢山の人たちが、沢山のことを教えてくれるはずですが、それは、もしかしたら担当する患者さんかもしれません。多分それが一番大切なこと。

当院は、新潟市西部の中核病院として一般医療の最前線で「病氣」と向き合っています。Common diseasesはもとより、当院の専門医師へ依頼される希少疾患まで、豊富で多彩な症例を経験することができます。地域医療支援病院として、医療・保健・福祉、すべての面から、多くのスタッフとともに、患者さん家族と「ともに歩み、支える」を理念として、成長を続けたいと願っております。皆さんも、私たちと一緒に成長して行こうではありませんか。



臨床研修管理委員会委員長（副院長） 坪野 俊広

TSUBONO Toshihiro

当院では臨床研修医の皆さんを広く募集していますが、目指すところは以下の5項目です。

1. 地域医療に貢献する医師を育てること
2. 救急や総合診療に力点を置いていくこと
3. ハイパーな臨床研修を目指す  
新しい血を導入していくこと
4. 将来を考える自由選択期間も  
長くっていききたいこと
5. 女性の働きやすい職場を目指していくこと

当院は新潟市の西地区にあり、新潟市の救急拠点病院として発展していくことを目指しています。救急医療は医療全体の縮図であり、患者は高齢化し、孤立し、さらに多くの慢性疾患を抱えて運ばれてきます。このような患者さんに対して、地域全体でどのように対応していくか？皆さんと一緒に働きながら考えていきたいと思っています。

当院は最近までハイポな病院だったらいいのですが、そこからの脱皮を目指しています。そのために県外のハイパーな施設とのたす掛けプログラムを積極的に導入しています（来年度は、湘南鎌倉病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、公立昭和病院、宇治徳洲会病院と連携していく予定です）。これらの施設で研修してきた皆さんが、当院に合流することで化学反応が起こることを期待しています。

その上で、専攻医や指導医としての将来も一緒に考えていきたいと思っています（鮭が生まれた川に戻ってくるように、当院に勤務医として戻ってきてくれることを夢見ています）。

そして最後に、医師だけではなく、女性の働きやすい職場を作りたいと強く考えています。まだ構想段階ではありますが、将来の人生設計に柔軟に対応する働き方を模索したいと思っています。

私たち済生会新潟病院の職員は、臨床研修医となる皆さんを病院の宝だと考えています。その上で、皆さんにもサポートスタッフを含めた1,000人以上の職員全体を支える存在になってほしいのです。そのために私たちは皆さんを全力で支えていくことを誓います。

# 研修医の声

高め合う日々

お互いを



秋野 早紀 先生

AKINO Saki

Q.

済生会新潟病院を選んだ理由は？

A.

新潟市内で研修病院を探しており、診療科が揃っていて、同期もある程度多い方が良いと思っていました。ゆったりとした雰囲気、自分が合っていると感じ、済生会病院に決めました。

Q.

研修先を決める上で大切なことは？

A.

研修内容が自分に合っているかどうかが一番大事です。具体的には手技や病棟業務をどの程度研修医が行うか、大学病院や外病院を回る機会はあるか、当直体制などを病院見学の時などに研修医に聞くと良いと思います。

Q.

済生会新潟病院の雰囲気は？

A.

先生方は忙しい中でも熱心に指導してくださり、質問もしやすいです。コメディカルスタッフの方々も親切で、エコーなどの検査を見学させていただく時もあります。

Q.

休日はどのように過ごしていますか？

A.

一日中家にいる時もあれば、美味しいランチの店や可愛いカフェを調べてお出かけする日もあります。旅行も好きで、1~2ヶ月に1回ほど旅行に行きます。

## ● 1日のスケジュール

麻酔科では1日2~3件の手術に入って、麻酔導入から患者さんが覚醒して退室するまでを担当します。Vライン確保や気管挿管など、手技が多くとても勉強になりました。

	出勤
8:30	集合
9:00	オペ(麻酔)
12:00	休憩
13:00	オペ(麻酔)
17:10	帰宅

麻酔科



message for student

### 学生の皆さんへのメッセージ

済生会病院での研修が始まる前は不安でいっぱいでしたが、今は充実した研修生活を送っています。済生会病院は地域を支える病院であり、患者さんが多く、一般的な症例は十分に経験できます。忙しくて負担になる程ではなく、自分の勉強をする時間も取れています。同期が多く、休憩中に研修医室で喋ったり、勤務後に同期飲みをしたりと楽しく過ごしています。メリハリのある充実した研修を行うことができ、済生会病院を選んで良かったと感じます。ぜひ見学にいらしてください。

# 研修医の声

みんなで助け合う

仲間を



二宮 健彰 先生  
NINOMIYA Takeaki

**Q.** 済生会新潟病院を選んだ理由は？  
**A.** 実習させていただいた際に、上級医の先生の熱心な指導や、病棟の雰囲気の良さを感じました。また、研修医同士の仲も良く、仕事もプライベートも充実した研修ができると感じ、この病院を選択しました。

**Q.** 研修先を決める上で大切なことは？  
**A.** 済生会新潟病院は専門科を含め、多くの診療科が揃っています。自由選択期間も長く、自分の興味に合わせて、幅広い症例を経験できます。研修の自由度は病院を選択する上で大切だと思います。

**Q.** 済生会新潟病院の雰囲気は？  
**A.** スタッフ同士の仲が良く、病棟や外来でコミュニケーションが取りやすいです。指導医の先生も優しく熱心に指導して下さいます。研修医同士の仲も良く、仕事もプライベートも充実した日々を過ごしています。

**Q.** 休日はどのように過ごしていますか？  
**A.** インドアな性格なので、家でゆっくり過ごしています。寒い季節は近くの温泉に行ったりしています。



message for student

## 学生の皆さんへのメッセージ

済生会新潟病院は多くの診療科が揃い、自由選択期間も長く、個々の希望に合わせた研修ができます。また、救急拠点病院に指定され、毎日多くの救急車を受け入れています。救急外来では研修医がファーストタッチすることができ、多くのことを経験し学ぶことができます。全体的にアットホームな雰囲気であり、研修医同士の仲もとても良く、働きやすい環境が整っています。ぜひ一度見学に来ていただいて、実際の様子や雰囲気など感じていただければと思います。

## ● 1日のスケジュール

小児科では病棟回診や外来見学を通して、小児診察について学びます。実際に診察させていただき、小児診療の難しさや成人との違いを経験でき、有意義な研修になりました。

	出勤
8:40	病棟カンファレンス
9:00	病棟回診
10:30	外来
12:00	休憩
14:00	外来
17:00	病棟カンファレンス
18:00	帰宅



# 指導医と研修医のクロストーク

研修医(1年目)

佐藤 史弥先生  
SATO Fumiya

呼吸器内科指導医

市川 紘将先生  
ICHIKAWA Kousuke

研修医(2年目)

島田 剛先生  
SHIMADA Go

## 対談



指導医と研修医に当院の臨床研修についてお話していただきました。

### —— 日々の研修について

**島田** 日々の研修について、市川先生の呼吸器内科では自分で患者さんの検査や治療方針等を考えてオーダーを入れて、それを指導医の先生に確認していただいていた。指導医からのフィードバックを受けながら、経験して体で覚えていくような研修をさせていただきました。

**市川医師** 指導方法については、各診療科や指導医によって違うと思いますが、私は実際に経験してもらうことを大切にしています。当科はそれぞれの担当患者さんに対して、その主治医と一緒に研修医が診療をする形で指導しています。大きく間違えない限りは、ある程度任せて見守るようなスタイルをとっています。任せられると困ると思うんですが、私は困ることが重要だと思っています。困ることが学ぶ動機になりますから。

**佐藤** たしかに、呼吸器内科を回った時が良い意味で一番困った印象があります。困って自分で調べて主体的に取り組めたので、とても勉強になりました。臨床研修2年間の指導医に守られている状況下でこの体験ができたことは、貴重な経験でしたし先生方に感謝しています。

### —— 専攻診療科について

**市川医師** 私が呼吸器内科を専攻した理由ですが、守備範囲が広く、いろんな病態・疾患に対応できる医師になりたいという漠然とした思いがありました。今であれば総合診療科という科がありますが、私が入局した当時の新潟大学に

は総合診療科がなく、内科はいわゆるナンバー内科で「第一内科」「第二内科」「第三内科」に分かれていました。その中の「第二内科」は、腎・膠原病・呼吸器・感染症という非常に広い分野を診ている科だったので、前述の理由から、第二内科に入局することになりました。

当時の私は「人の死＝医療の敗北」と思っていたので、特に多くの方が亡くなる肺癌とは関わりたくないと思っていました。一方、昔から「免疫学」に興味があり、妻が自己免疫疾患を患っていたこともあったので、膠原病内科かなあ…と思いつきながら、第二内科入局後の1年間を過ごしました。その1年間に、想像を超える多くの患者さんの死に直面し、「人はいつか必ず死ぬ」という当たり前と言えは当たり前の真理に直面しました。それまで「人の死＝医療の敗北」と捉え、人の死から逃げていた私の考えは180度変わり、『私が死から逃げていると、私自身も患者さんも苦しくなる。人の死と真正面から向き合う医師になりたい』と思うようになりました。

ということで、呼吸器内科、その中でも肺腫瘍を自身の専門分野とすることに決めました。

**島田** 私は、来年から腎臓内科に進むことを決めました。予防医学をどう発展させていくかという事に興味があり、腎臓は全体を見る臓器の一つなので、腎臓内科を選びました。

**市川医師** 予防医学に興味をもったきっかけとかあるんですか？

**島田** ここまで悪くなるまで病院に行かなかったのか、と思う人をたくさん見ていたという事がきっ



かけです。健康診断行きたくないって人も、結構いるんですよ。予防医学を発展させれば、救急で具合が悪くなることも少なくなるのではないかなと思っています。

**佐藤** 自分は1年目が終わったところなのですが、今は循環器内科か呼吸器内科を考えています。2年目に選択研修の期間もあるので、いろいろな診療科を経験しながら決めたいと思っています。

#### —— 研修を行う中で印象に残っていること

**佐藤** 日当直を同じ研修医として在籍する1年上の兄と一緒に入った時の事です。夜中3時にコードブルーで呼び出された時に、着いたら患者さんが心停止だったんです。自分はどうしたらいいかわからなかったのですが、兄が冷静に指揮をとっていたのを見て、2年後自分もこうならないといけないと思い、人生で初めて兄を尊敬しました。

**市川医師** それは良い経験でしたね。

**島田** 私は辛い経験になってしまいますが、1年目に呼吸器内科を研修している時に、原因不明の呼吸不全の患者さんが運ばれてきた時の事

です。様々な検査をしたのですが原因がわからず、自分は助けたいのにどんどん悪くなってしまって…。何かできなかつたのかなと思っただけが印象に残っています。

**市川医師** 辛い経験もあるけれど、必ずそれが糧になります。あの時何もできなかつたという思いが次の自分を作っていきますし、原動力になると思います。

#### —— 研修医に心掛けてもらいたいこと

**市川医師** 医者をやっていく上で一番大事な能力は何か。一つ挙げるとしたら、コミュニケーション能力だと思っています。患者さんだけでなく、コメディカル等、様々な職種とのコミュニケーションが発生しますし、それが上手な人は医療が円滑に回っていくので大事なポイントだと思っています。医者としてだけでなく、社会人として、人間としてちゃんとしているかということも大切です。2年間の臨床研修が終わると全部自分で考えて行動して、全ての責任を取らなくてはならないという危機感を持つことを心がけていただきたいです。

(敬称略)



## 臨床研修の特色

### 研修医が多く、仲が良いこと

研修医数は、1年次10名、2年次12名(合計22名)の予定です。新潟大学以外の出身者が多いのも特徴で、出身大学に関わらず皆、打ち解けているのが良いところかと思えます。臨床実習・見学の学生たちも同じ研修室で過ごしますので、入職前から先輩たちとのつながりができています。

### 充実した研修プログラム

当院は新潟市の救急拠点病院であり、救急医療に力を入れています。1年生は2年生と共に屋根瓦式の研修を行います。さらに指導医が研修医のスキルに応じた適切な指導を行いますので、忙しいながらも充実した学びを担保することができます。

県外の多くの病院と連携していますので、自由選択期間には、将来の専攻科を見据えた研修を県外の新しい視点からとらえることができることも魅力のひとつです。

### ワークライフバランスの実現

「日中は忙しく働き、夜間や休日はしっかり休む」が当院の臨床研修のコンセプトです。研修医には2年間で総合診療の基礎をしっかり学んでいただきます。その上で、夜間や休日は自分自身や家族のために時間を使っていただきたいと思っています。

人生の中の重要な2年間で公私ともに充実したものとして、その上で、頼りがいのある専攻医として、羽ばたいてもらいたいと思っています。

## 済生会新潟病院臨床研修プログラム

### ● 当院臨床研修プログラム 研修スケジュール

point

1年次は基本科目をしっかり抑え、2年次は自由度高く研修。選択科目も28週と充実しており、下記県内外の協力病院での研修も可能です。

1年目		2年目	
2週間	オリエンテーション	4週	地域医療
6週	消化器内科	4週	救急
6週	循環器内科	4週	精神科
6週	呼吸器内科	4週	麻酔科(救急)
6週	血液内科	4週	神経系 ※予定
6週	代謝内分泌内科+腎・膠原病内科	6週	外科
4週	産婦人科	28週	選択科目
4週	小児科		
4週	救急		
6週	整形外科		

※神経系は近隣病院での研修が可能か現在調整中

### ● 済生会新潟病院 協力病院・施設一覧

県内外の病院や全国の済生会病院と連携して研修を行っています。

#### 必修分野

- ・ 松浜病院 (精神科)
- ・ 新潟県立津川病院 (地域医療)
- ・ 済生会三条病院 (地域医療)

#### 自由選択分野

- ・ 新潟大学医歯学総合病院
- ・ 済生会県央基幹病院
- ・ 済生会福岡総合病院
- ・ 済生会宇都宮病院
- ・ 岡山済生会総合病院
- ・ 旭川医科大学病院
- ・ 済生会熊本病院
- ・ 済生会横浜市東部病院
- ・ 済生会加須病院
- ・ 水戸済生会総合病院

### ● 済生丸研修

国内唯一“海を渡る病院”として瀬戸内海巡回診療船(済生丸)で、希望者は研修を行うことができます。済生丸は「無医島の人々に医療の光を」という思いのもと、病院並みの機能をもつ診療船として建造されました。現在瀬戸内海に浮かぶ65の島々を巡回し、医療に恵まれない地域に疾病の診療および保健予防などを実施しています。



## 2024年度 たすきがけプログラム(実績)

1. 済生会新潟病院 + 公立昭和病院



2. 済生会新潟病院 + 宇治徳洲会病院



## 2025年度 たすきがけプログラム(予定)

上記2病院に加え、新たに2病院と連携予定です。

3. 済生会新潟病院 + 湘南鎌倉総合病院



4. 済生会新潟病院 + 現在調整中

coming soon

coming soon

※2025年度の県外たすきがけプログラムは現在調整中です。詳細が決まり次第、更新します。

# 交通アクセス・研修環境

市内には国際空港でもある新潟空港があり、上越新幹線、北陸自動車道や関越自動車道で関東・関西圏ともつながっています。学会などで国内各地へ向かう場合にも空港、陸路ともアクセスは良好です。



## 交通のご案内

### 新潟駅からバス

- 学校町～信濃町～西部営業所行に乗車→
- 水島町～県庁前～西部営業所行に乗車→  
済生会新潟病院で下車

### 電車とタクシー

- JR新潟駅万代口よりタクシーで約20分
- JR小針駅よりタクシーで約5分

### 自家用車

- 新潟バイパス新潟黒埼ICより約5分

## 研修環境

研修医室	個人用デスク・個人用メールボックス・wi-fi 完備 共用パソコン・複合プリンター・電子カルテ端末・アメニティ (冷蔵庫・電子レンジ)・談話スペース
研修シミュレーター	超音波・縫合セット・各種シミュレーターあり
利用できる電子コンテンツ	「DynaMed」「今日の臨床サポート」「ProceduresConsult」「Up To Date」
仮眠室	研修医専用あり